

放射線科（治療）

1) 研修スケジュール

- 治療集中 4週間コース：附属病院の治療 3週間＋総合医療センターの治療 1週間
- 治療・画像診断 4週間コース：治療 3週間＋画像診断 1週間
- 治療集中 8週間コース：附属病院の治療 5週間＋総合医療センターの治療 3週間
- 自由選択 8週間コース：附属病院の治療を主軸に、希望に合わせて画像診断・核医学・医療センター治療の中から複数の分野を研修できます。（研修の1カ月前までに要相談）

2) 放射線科における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修 修了時	指導医 記入欄
1.	ガイドラインに沿った悪性腫瘍の治療方針を集学的（手術・放射線・薬物・緩和）に立案できる。			
2.	放射線治療計画を作成し、実施できる。			
3.	患者さんやご家族に対し適切なインフォームドコンセントができる。			
4.	新しい知識を習得しEBMを実践、研究に参加し、学会や論文発表に積極的に取り組むことができる。			
5.	放射線治療における医療安全対策・感染対策を実施できる。			
6.	他診療科を含めたメディカルスタッフと協調性をもって緩和ケアを行える。			

a=十分できる b=できる c=要努力 (3段階評価) / ?=評価不能

3) 経験できる疾患や手技

経験できる疾患	経験できる手技
<p>1. 根治治療から緩和治療、緊急放射線治療まで、また臓器を問わず、全身の悪性腫瘍の放射線治療を経験できる。</p> <p>2. 血液疾患に対する造血幹細胞移植の前処置である全身放射線照射を経験できる。</p> <p>3. ケロイドや甲状腺眼症などの良性疾患に対する放射線治療を経験できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・画像誘導放射線治療 ・脳定位放射線治療 ・体幹部定位放射線治療 ・強度変調放射線治療（前立腺以外） ・ハイドロゲルスパースーを使用した前立腺癌の強度変調放射線治療 ・強度変調回転照射 ・全身放射線照射（造血幹細胞移植の前処置）、全身皮膚照射など

放射線科（治療）

4) 推薦書籍



難易度★
コメント
最近の放射線治療のトレンドがわかります。



難易度★★
コメント
放射線治療の理論、基礎から臨床、最新の治療法まで。とりあえずの1冊として必要十分な内容です。

5) 事前アンケート（★重要★研修開始1週間前までに必ず提出して下さい）

1. 将来、放射線科を専門に選ぶ可能性はありますか？

- はい （希望する診療科を選択して下さい： 治療・画像診断・核医学）
- いいえ （希望する診療科名を記載してください： ）

2. どちらの放射線科（治療）研修コースを希望しますか？

- 治療集中 4週間コース：附属病院の治療 3週間＋医療センターの治療 1週間
- 治療・画像診断 4週間コース：治療 3週間＋画像診断 1週間
- 治療集中 8週間コース：附属病院の治療 5週間＋医療センターの治療 3週間
- 自由選択 8週間コース：附属病院の治療を主軸に、希望に合わせて画像診断・核医学・医療センター治療の中から複数の分野を研修できます。（研修の1カ月前までに要相談）

※自由選択コースは研修開始の1カ月前までに要相談：ハンディホン 44173 釋舎

3. 興味ある疾患、治療を教えてください。（例：肺癌・前立腺癌・婦人科癌・小線源治療など）

4. 研修中の都合の悪い日を教えてください。（例：有給休暇の希望、当直、献血当番など）

6) 自由記載欄（研修について要望などがあれば記載して下さい。）

7) 研修修了時、指導医との振り返り（必ず記載し指導医がセンターに提出）

できるように思ったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載）
指導医氏名（押印可） _____	
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか ～次へのアクションプラン（研修医記載）	

J1・J2 (○) 氏名 _____ メールアドレス _____